

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	森ノ宮医療学園専門学校
設置者名	学校法人 森ノ宮医療学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	鍼灸学科(午前コース)	夜・通信	332 時間	240 時間	
	鍼灸学科(昼間コース)	夜・通信	332 時間	240 時間	
	鍼灸学科(夜間コース)	⑨・通信	332 時間	135 時間	
	柔道整復学科(アドバンスコース)	夜・通信	272 時間	240 時間	
	柔道整復学科(昼間コース)	夜・通信	270 時間	240 時間	
	柔道整復学科(夜間コース)	⑨・通信	270 時間	135 時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.morinomiya.ac.jp/schoolguide/information

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	森ノ宮医療学園専門学校
設置者名	学校法人 森ノ宮医療学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://www.morinomiya.ac.jp/schoolguide/information>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	大学医学部教授・医師	2019年4月 1日～2021 年4月1日	医療人および教育 者としての見地を 活かした学校運営 への参画
非常勤	大学医学部教授・医師	2019年4月 1日～2021 年4月1日	医療人および教育 者としての見地を 活かした学校運営 への参画
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	森ノ宮医療学園専門学校
設置者名	学校法人 森ノ宮医療学園専門学校

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>前年度末までに各授業担当者を決定し、併せて授業計画書の作成を依頼しています。作成された授業計画書は校長および学科長の確認を経て、当該授業開始までに学生に公表することを原則としています。</p>	
授業計画書の公表方法	https://www.morinomiya.ac.jp/schoolguide/information
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	

<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>試験等を総合的に評価し、絶対評価にて100点満点中60点以上を合格としています。</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>各学科の各コースにおける当該試験期ごとの試験の平均点を算出しクラス全員に公表し、かつ各人のクラス内席次を算出の上、学生個々に公表することにより学生各自の学習状況を客観的に把握することができます。また、これらを指標として学生指導に活かすことも行われています。</p>	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>https://www.morinomiya.ac.jp/schoolguide/information</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

卒業の認定は3年間の学習状況を総合的に勘案して行われています。具体的な卒業条件として、定められた全ての単位を修得し、卒業試験に合格のうえ、授業料等定められた学納金を完納していることとしています。また、卒業を決定するにあたり、校長、学科長等による会議を開催し、その中で上記卒業条件を満たしているかを確認しております。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

[https://www.morinomiya.ac.jp/schoolguide/
information](https://www.morinomiya.ac.jp/schoolguide/information)

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	森ノ宮医療学園専門学校
設置者名	学校法人 森ノ宮医療学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.morinomiya.ac.jp/schoolguide/information
収支計算書又は損益計算書	https://www.morinomiya.ac.jp/schoolguide/information
財産目録	https://www.morinomiya.ac.jp/schoolguide/information
事業報告書	https://www.morinomiya.ac.jp/schoolguide/information
監事による監査報告（書）	https://www.morinomiya.ac.jp/schoolguide/information

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	鍼灸学科（午前コース）	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2656 単位時間	1846 単位 時間	130 単 位時 間	180 単 位時 間	0 単位 時間	500 単 位時 間
			2656 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
300 人の内数		116 人	1 人	13 人の内数	40 人の内数	53 人の内 数	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）前年度末までに各授業担当者を決定し、併せて授業計画書の作成を依頼しています。作成された授業計画書は校長および学科長の確認を経て、当該授業開始までに学生に公表することを原則としています。
成績評価の基準・方法
（概要）試験等を総合的に評価し、絶対評価にて100点満点中60点以上を合格としています。

卒業・進級の認定基準
(概要) 卒業の認定は3年間の学習状況を総合的に勘案して行われています。具体的な卒業条件として、定められた全ての単位を修得し、卒業試験に合格のうえ、授業料等定められた学納金を完納していることとしています。また、進級条件は、原則、当該学年の教育課程における全ての単位を修得したうえで授業料等定められた学納金を完納していることとしています。
学修支援等
(概要) 担任による積極的な面談に加えて、学業不振者に対して課外ゼミや個別指導等を随時行っています。また、兼任教員も参加している職員会議において、学生に関する情報を共有し、長期欠席者等への早期対応を図っています。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
40人 (100.0%)	0人 (0.0%)	37人 (92.5%)	3人 (7.5%)
(主な就職、業界等) 鍼灸院・クリニック・介護福祉施設			
(就職指導内容) 専任の職員による個別就職指導を在校中はもとより卒業後も随時行っています。毎年10月に本校にて開催している就職相談会は就職先とのマッチングの場として大いに活用され、また、その他に履歴書の書き方や面接方法を指導する年数回の就職ガイダンスも実施しています。			
(主な学修成果(資格・検定等)) はり師国家資格・きゅう師国家資格			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
126人	13人	10.3%
(中途退学の主な理由) 家庭の事情・進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任による積極的な面談に加えて、学業不振者に対して課外ゼミや個別指導等を随時行っています。また、兼任教員も参加している職員会議において、学生に関する情報を共有し、長期欠席者等への早期対応を図っています。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
医療	医療専門課程	鍼灸学科(昼間コース)	○	
修業	昼夜	全課程の修了に必要な	開設している授業の種類	

年限		総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2656 単位時間	1846 単位時間	130 単位時間	180 単位時間	0 単位時間	500 単位時間
			2656 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
300 人の内数	76 人	0 人	13 人の内数	40 人の内数	53 人の内数		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）前年度末までに各授業担当者を決定し、併せて授業計画書の作成を依頼しています。作成された授業計画書は校長および学科長の確認を経て、当該授業開始までに学生に公表することを原則としています。
成績評価の基準・方法
（概要）試験等を総合的に評価し、絶対評価にて 100 点満点中 60 点以上を合格としています。
卒業・進級の認定基準
（概要）卒業の認定は 3 年間の学習状況を総合的に勘案して行われています。具体的な卒業条件として、定められた全ての単位を修得し、卒業試験に合格のうえ、授業料等定められた学納金を完納していることとしています。また、進級条件は、原則、当該学年の教育課程における全ての単位を修得したうえで授業料等定められた学納金を完納していることとしています。
学修支援等
（概要）担任による積極的な面談に加えて、学業不振者に対して課外ゼミや個別指導等を随時行っています。また、兼任教員も参加している職員会議において、学生に関する情報を共有し、長期欠席者等への早期対応を図っています。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
24 人 (100.0%)	0 人 (0.0%)	21 人 (87.5%)	3 人 (12.5%)
（主な就職、業界等）鍼灸院・クリニック・介護福祉施設			
（就職指導内容） 専任の職員による個別就職指導を在校中はもとより卒業後も随時行っています。毎年 10 月に本校にて開催している就職相談会は就職先とのマッチングの場として大いに活用され、また、その他に履歴書の書き方や面接方法を指導する年数回の就職ガイダンスも実施しています。			
（主な学修成果（資格・検定等））はり師国家資格・きゅう師国家資格			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
76人	7人	9.2%
(中途退学の主な理由) 家庭の事情・進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任による積極的な面談に加えて、学業不振者に対して課外ゼミや個別指導等を随時行っています。また、兼任教員も参加している職員会議において、学生に関する情報を共有し、長期欠席者等への早期対応を図っています。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	鍼灸学科(夜間コース)	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	夜	2656 単位時間	1846 単位時間	130 単位時間	180 単位時間	0 単位時間	500 単位時間
	2656 単位時間						
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
90人		56人	0人	13人の内数	40人の内数	53人の内数	

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 前年度末までに各授業担当者を決定し、併せて授業計画書の作成を依頼しています。作成された授業計画書は校長および学科長の確認を経て、当該授業開始までに学生に公表することを原則としています。
成績評価の基準・方法
(概要) 試験等を総合的に評価し、絶対評価にて100点満点中60点以上を合格としています。
卒業・進級の認定基準
(概要) 卒業の認定は3年間の学習状況を総合的に勘案して行われています。具体的な卒業条件として、定められた全ての単位を修得し、卒業試験に合格のうえ、授業料等定められた学納金を完納していることとしています。また、進級条件は、原則、当該学年の教育課程における全ての単位を修得したうえで授業料等定められた学納金を完納していることとしています。
学修支援等

(概要) 担任による積極的な面談に加えて、学業不振者に対して課外ゼミや個別指導等を随時行っています。また、兼任教員も参加している職員会議において、学生に関する情報を共有し、長期欠席者等への早期対応を図っています。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
12人 (100.0%)	0人 (0.0%)	11人 (91.7%)	1人 (8.3%)
(主な就職、業界等) 鍼灸院・クリニック・介護福祉施設			
(就職指導内容) 専任の職員による個別就職指導を在校中はもとより卒業後も随時行っています。毎年10月に本校にて開催している就職相談会は就職先とのマッチングの場として大いに活用され、また、その他に履歴書の書き方や面接方法を指導する年数回の就職ガイダンスも実施しています。			
(主な学修成果(資格・検定等)) はり師国家資格・きゅう師国家資格			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
51人	7人	13.7%
(中途退学の主な理由) 家庭の事情・進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任による積極的な面談に加えて、学業不振者に対して課外ゼミや個別指導等を随時行っています。また、兼任教員も参加している職員会議において、学生に関する情報を共有し、長期欠席者等への早期対応を図っています。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	柔道整復学科(アドバンスコース)	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
	昼		講義	演習	実習	実験	実技
3年		3170 単位時間	1986 単位時間	166 単位時間	180 単位時間	0 単位時間	838 単位時間
			3170 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	

270 人の内数	61 人	0 人	11 人の内数	44 人の内数	55 人の内数
----------	------	-----	---------	---------	---------

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）					
（概要）前年度末までに各授業担当者を決定し、併せて授業計画書の作成を依頼しています。作成された授業計画書は校長および学科長の確認を経て、当該授業開始までに学生に公表することを原則としています。					
成績評価の基準・方法					
（概要）試験等を総合的に評価し、絶対評価にて 100 点満点中 60 点以上を合格としています。					
卒業・進級の認定基準					
（概要）卒業の認定は 3 年間の学習状況を総合的に勘案して行われています。具体的な卒業条件として、定められた全ての単位を修得し、卒業試験に合格のうえ、授業料等定められた学納金を完納していることとしています。また、進級条件は、原則、当該学年の教育課程における全ての単位を修得したうえで授業料等定められた学納金を完納していることとしています。					
学修支援等					
（概要）担任による積極的な面談に加えて、学業不振者に対して課外ゼミや個別指導等を随時行っています。また、兼任教員も参加している職員会議において、学生に関する情報を共有し、長期欠席者等への早期対応を図っています。					

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
22 人 (100.0%)	0 人 (0.0%)	19 人 (86.4%)	3 人 (13.6%)
（主な就職、業界等）接骨院・クリニック・介護福祉施設			
（就職指導内容） 専任の職員による個別就職指導を在校中はもとより卒業後も随時行っています。毎年 10 月に本校にて開催している就職相談会は就職先とのマッチングの場として大いに活用され、また、その他に履歴書の書き方や面接方法を指導する年数回の就職ガイダンスも実施しています。			
（主な学修成果（資格・検定等））柔道整復師国家資格			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
75 人	8 人	10.7%

(中途退学の主な理由) 家庭の事情・進路変更
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任による積極的な面談に加えて、学業不振者に対して課外ゼミや個別指導等を随時行っています。また、兼任教員も参加している職員会議において、学生に関する情報を共有し、長期欠席者等への早期対応を図っています。

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	柔道整復学科(昼間コース)	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2756 単位時間	1796 単位時間	66 単位時間	180 単位時間	0 単位時間	714 単位時間
			2756 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
270 人の内数		69 人	0 人	11 人の内数	44 人の内数	55 人の内数	

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 前年度末までに各授業担当者を決定し、併せて授業計画書の作成を依頼しています。作成された授業計画書は校長および学科長の確認を経て、当該授業開始までに学生に公表することを原則としています。
成績評価の基準・方法
(概要) 試験等を総合的に評価し、絶対評価にて100点満点中60点以上を合格としています。
卒業・進級の認定基準
(概要) 卒業の認定は3年間の学習状況を総合的に勘案して行われています。具体的な卒業条件として、定められた全ての単位を修得し、卒業試験に合格のうえ、授業料等定められた学納金を完納していることとしています。また、進級条件は、原則、当該学年の教育課程における全ての単位を修得したうえで授業料等定められた学納金を完納していることとしています。
学修支援等
(概要) 担任による積極的な面談に加えて、学業不振者に対して課外ゼミや個別指導等を随時行っています。また、兼任教員も参加している職員会議において、学生に関する情報を共有し、長期欠席者等への早期対応を図っています。

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他

31人 (100.0%)	3人 (9.7%)	26人 (83.9%)	2人 (6.5%)
(主な就職、業界等) 接骨院・クリニック・介護福祉施設			
(就職指導内容) 専任の職員による個別就職指導を在校中はもとより卒業後も随時行っています。毎年10月に本校にて開催している就職相談会は就職先とのマッチングの場として大いに活用され、また、その他に履歴書の書き方や面接方法を指導する年数回の就職ガイダンスも実施しています。			
(主な学修成果(資格・検定等)) 柔道整復師国家資格			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
91人	8人	8.8%
(中途退学の主な理由) 家庭の事情・進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任による積極的な面談に加えて、学業不振者に対して課外ゼミや個別指導等を随時行っています。また、兼任教員も参加している職員会議において、学生に関する情報を共有し、長期欠席者等への早期対応を図っています。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	柔道整復学科(夜間コース)	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	夜	2756 単位時間	1796 単位時間	66 単位時間	180 単位時間	0 単位時間	714 単位時間
			2756 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
90人		52人	0人	11人の内数	44人の内数	55人の内数	

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 前年度末までに各授業担当者を決定し、併せて授業計画書の作成を依頼しています。作成された授業計画書は校長および学科長の確認を経て、当該授業開始までに学生に公表することを原則としています。
成績評価の基準・方法

(概要) 試験等を総合的に評価し、絶対評価にて 100 点満点中 60 点以上を合格としています。
卒業・進級の認定基準
(概要) 卒業の認定は 3 年間の学習状況を総合的に勘案して行われています。具体的な卒業条件として、定められた全ての単位を修得し、卒業試験に合格のうえ、授業料等定められた学納金を完納していることとしています。また、進級条件は、原則、当該学年の教育課程における全ての単位を修得したうえで授業料等定められた学納金を完納していることとしています。
学修支援等
(概要) 担任による積極的な面談に加えて、学業不振者に対して課外ゼミや個別指導等を随時行っています。また、兼任教員も参加している職員会議において、学生に関する情報を共有し、長期欠席者等への早期対応を図っています。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
6 人 (100.0%)	0 人 (0.0%)	6 人 (100.0%)	0 人 (0.0%)
(主な就職、業界等) 接骨院・クリニック・介護福祉施設			
(就職指導内容) 専任の職員による個別就職指導を在校中はもとより卒業後も随時行っています。毎年 10 月に本校にて開催している就職相談会は就職先とのマッチングの場として大いに活用され、また、その他に履歴書の書き方や面接方法を指導する年数回の就職ガイダンスも実施しています。			
(主な学修成果 (資格・検定等)) 柔道整復師国家資格			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
37 人	0 人	0.0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任による積極的な面談に加えて、学業不振者に対して課外ゼミや個別指導等を随時行っています。また、兼任教員も参加している職員会議において、学生に関する情報を共有し、長期欠席者等への早期対応を図っています。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
鍼灸学科 (午前コース)	200,000 円	840,000 円	420,000 円	実験・実習費
鍼灸学科 (昼間コース)	200,000 円	840,000 円	420,000 円	実験・実習費
鍼灸学科 (夜間コース)	100,000 円	840,000 円	420,000 円	実験・実習費
柔道整復 学科 (アド バンス コース)	200,000 円	960,000 円	420,000 円	実験・実習費
柔道整復 学科 (昼 間コ ース)	200,000 円	840,000 円	420,000 円	実験・実習費
柔道整復 学科 (夜 間コ ース)	100,000 円	540,000 円	420,000 円	実験・実習費
修学支援 (任意記載事項)				
本校に入学されるまでに、「日本の大学・短期大学を卒業された方」「本校指定の医療系国家資格を取得された方」「本学園 (森ノ宮医療大学 を含む) の在校生または卒業生となられた方」のいずれか一つの条件を満たされた方、または、柔道特別入試にて入学された方をを対象に、本校独自の学費優遇制度を設けております。				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.morinomiya.ac.jp/schoolguide/information
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 森ノ宮医療学園専門学校 学校関係者評価に関する自己点検・評価委員会規程施行細則に定めのある通り、本校における学校関係者として、業界関連団体役員、本校卒業生、学生の保護者、高等学校校長あるいは経験者および校長の指名する者からそれぞれ選定された 5 名以上で構成された学校関係者評価専門部会委員会にて学校関係者評価を行っています。業界に精通している委員のみならず、保護者や高等学校校長経験者を委員として選定していることで、教育理念や学校運営、教育活動などの評価項目ごとに幅広い議論・評価を行うことができ、評価結果は自己点検・評価委員会を経て、本校の最高意思決定機関である管理者会議へと上申され、校長及び学科長の指示の下、次年度以降の教育活動及び学校運営に反映されます。

学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
全日本鍼灸マッサージ師会	2019年4月1日～2020年3月31日	企業等委員
大阪府柔道整復師会	2019年4月1日～2020年3月31日	企業等委員
なし	2019年4月1日～2020年3月31日	卒業生等
森ノ宮医療学園校友会	2019年4月1日～2020年3月31日	PTA
なし	2019年4月1日～2020年3月31日	元教育関係者
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.morinomiya.ac.jp/schoolguide/information		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.morinomiya.ac.jp/
--